



小学1年生から受け入れているガラス工芸体験は数少ないそうです。

体験できます

### ガラス工芸体験

日時：毎週土曜日 午前10時～正午(予約制) 場所：多世代活動交流センター 2階 ガラス工芸体験工房 費用：とんぼ玉(2個) 1,000円 グラス絵付け(1個) 800円 問合せ：はとやまがらす事務局 金子さん ☎ 296-4812



「“とんぼ玉”づくりは、両手で違う動きをするので脳への刺激になり、ご年配の方にもおすすめです！お子さんやお孫さんと一緒に、ぜひガラス工芸の世界を体感してみてください」と話す、はとやまがらすの皆さん。

ものづくりって楽しい



### 革の小物入れづくり

8月4日、ニュータウンふくしプラザ(☎ 290-5469)で行われた工作による交流イベント。市内の小学生がボランティアの方々と一緒に、特製のキットに独創的なアイデアを加え、自分だけのかわいい動物の小物入れを作りました。

匠の技はすごかった



### ものづくり体験教室

7月23日、町中央公民館で、埼玉県技能士会連合会(☎ 048-833-5923)が主催した「ものづくり体験教室」には、市内の小学生40人が参加。畳座布団や表札、箱庭、鋳物、手芸、木工、握り寿司など、様々なものづくりを体験しました。

## 地域の教育するチカラ

### ものづくり体験を通して喜びと感動の心を教える

いろいろな体験をすることが大好きな子どもたちですが、体験学習には指導が必要不可欠です。そうした機会を与えられるのは、様々な職業や特技を持った人が暮らす、地域ならではの教育力です。

7月26日と8月6日、多世代活動交流センターにあるガラス工芸体験工房で、「夏休み子ども体験講座 チャレンジガラス工芸」が行われ、「はとやまがらす」の皆さんの指導の下、子どもたちはとんぼ玉づくりやグラス絵付けを楽しみました。子どもたちは、「夏休みの宿題に、自

慢のものができた」とうれしそうでした。

「ガラス工芸を町の特産品に」との思いで、体験工房を運営する「はとやまがらす」の皆さん。町の事業で始めたこの体験工房を続けていくため、日々奮闘中です。

**体験は多様な職業を知る機会**

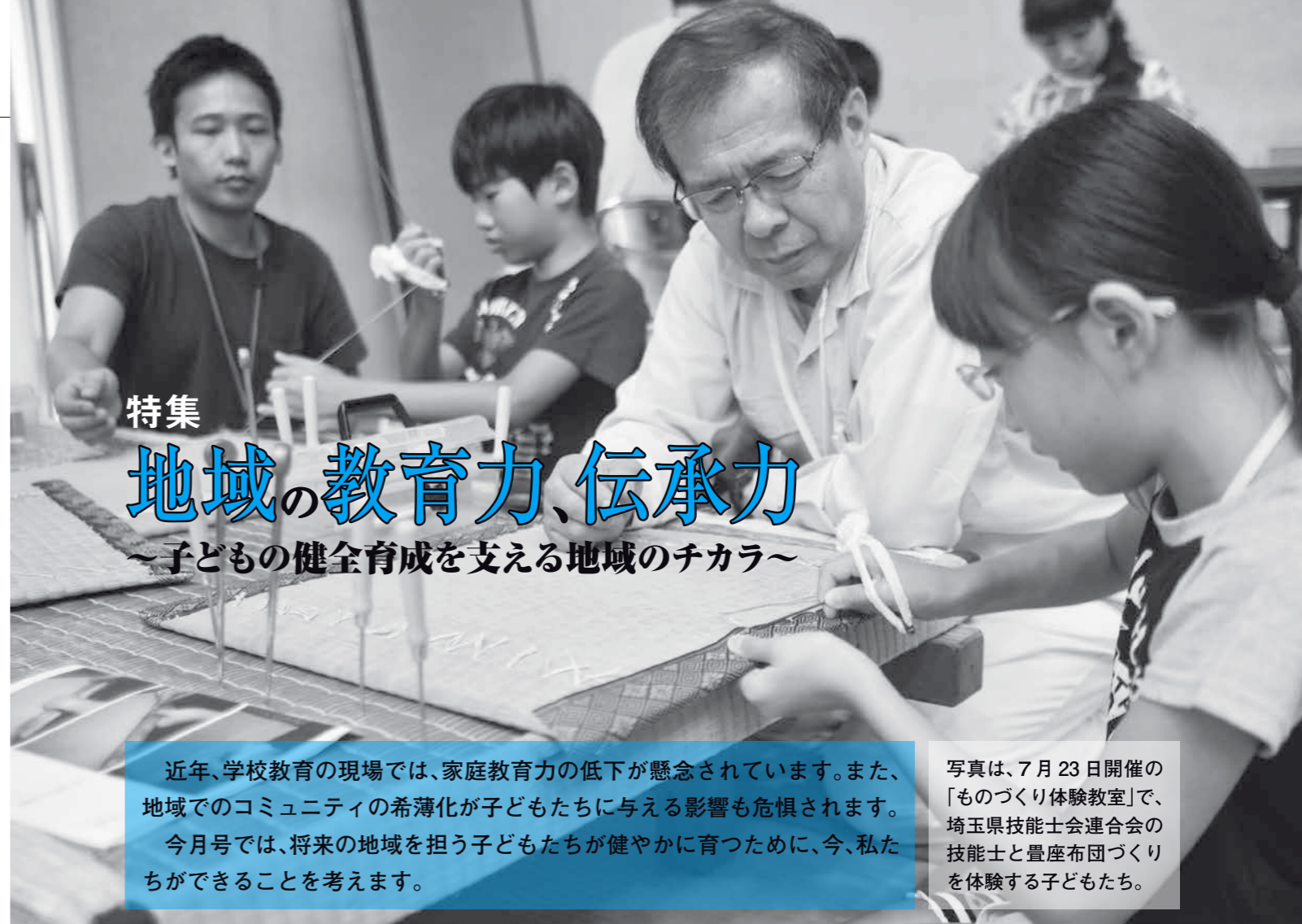
子どもたちが、技能士の優れた技術に触れつつ、その指導の下、ものづくりの喜びや感動、さらには技能の重要性や素晴らしさを体感してもらおう

取り組みもあります。

埼玉県技能士会連合会主催の「ものづくり体験教室」では、普段触れる機会の少ない、熟練した職人の技を目の当たりにする貴重な体験をしました。こうした体験は、子どもたちが様々な職業に目を向けるきっかけになるかもしれません。

また、「自分だけのオリジナルの革の小物入れをつくらう」という地域交流イベントで講師を務めた増田利正さんは、長年ランドセルなどの革製品を加工してきた方です。工作に使う材料は、増田さんが見極めた質のいい本革だから、数十年ほど長持ちすると言います。

将来、その小物入れを再び手に取るとき、何らかのものづくりに携わっている子がいるかもしれません。



特集

## 地域の教育力、伝承力

～子どもの健全育成を支える地域のチカラ～

近年、学校教育の現場では、家庭教育力の低下が懸念されています。また、地域でのコミュニティの希薄化が子どもたちに与える影響も危惧されます。今月号では、将来の地域を担う子どもたちが健やかに育つために、今、私たちができることを考えます。

写真は、7月23日開催の「ものづくり体験教室」で、埼玉県技能士会連合会の技能士と畳座布団づくりを体験する子どもたち。

### 家庭教育力の低下を地域でサポート

家庭教育は、すべての教育の出発点です。子どもが基本的な生活習慣や生活能力、他人に対する思いやりや善悪の判断などの基本的な倫理観や自立心、社会的なマナーなどを身につける上で、家庭での教育は重要な役割を果たしています。

近年、若い世代の中には「しつけは学校で、勉強は家庭で」と、本来果たすべき役割を逆に捉えている親もいます。また、家庭内で児童虐待などの様々な問題が発生し、子どもの健全な育成に悪影響を与えかねない状況も、わずかですが見受けられるようになってきました。

そうした現状で重要となるのは、学校以外でのもう一つの教育の場である「地域での教育・伝承活動」です。家庭や学校では得られない体験を通じて、子どもたちの健全育成をサポートすることが出来ます。

家庭や学校で出会える人には限り

## 子どもの健全育成は地域の将来に影響 未来を左右するのは、今のオトナ

7月13日に行われた「鳩山町青少年問題協議会並びに鳩山町校外指導委員会合同会議」(事務局：町健康福祉課及び町教育総務課)。会議では、埼玉県スクールソーシャルワーカーの鈴木直幸氏による講演も行われ、『学校・家庭・地域との連携を目指して』と題して、「大人が変われば子どもも変わる」として、社会全体のモラル向上や、地域の教育力向上をもって、家庭教育力が向上できることなどを説きました。



があります。地域には多くの目や人材があります。地域に住む私たち一人ひとりが、将来の地域を担う子どもの健全育成を意識することは、地域全体のモラルやマナーを向上させ、人への思いやりに満ちた地域を作ることにつながります。

## 地域の教育するチカラ

### 学校や家庭の外で出会える新発見をサポートする

学校でも、様々な方を講師に招いて行う授業がありますが、学校を飛び出し、地域の中で学べる機会をつくることも必要です。

#### 命や「食」の大切さに触れる

赤ちゃんのかわいさや命の大切さ、親への感謝の気持ちを育むことを目的に、町社会教育委員会事務局・町生涯学習課が主催し、毎年町立幼稚園で行われている『乳幼児と中学生のふれあい授業』。鳩山中学校3年生の生徒たちは、赤ちゃんとその

#### エコ写真って初めて



7月8日・12日開催の「乳幼児と中学生のふれあい授業」で、生徒たちは赤ちゃんを抱っこしたり、母親から様々な体験談を聞きました。

#### 調理を通じて食を知る



8月5日の「おやこの食育教室」で、11組の親子が、栄養面で良い献立の例として、サバサンド・ナムル・とん汁・ぜんざいを作りました。

で、「いつもお母さんがこんなに苦労して作っていたのだと思った」という子どもの気づきがあるように、日々の献立を考え、作ることも大変さも知ることができます。

#### 異世代交流からの学び

核家族化が進む現在では、高齢者と交流すること自体が、子どもたちにとっては貴重な経験となり、新たな学びにつながります。

高齢者の集いの場である「のびのびプラザ」と隣接する学童保育「銀河鉄道90」（ともに鳩山小学校敷地内）では、毎年、のびのびプラザの利用者が講師となり、子どもたちに自然観察やコマ回し、囲碁、書道などを教えています。

また、生き物ともっと仲良くなってもらおうと、今年度町立図書館で行われたのが「夏休み自然ものしり教室」です。講師を務めたのは、いずれもその分野で、長年にわたり様々な活動をしてきた方ばかりです。

こうした事業を通して、子どもたちは、親や学校の先生からは得られない新発見にたくさん出会うことができます。また、普段接しない大人からの教えは、新鮮味を帯びるため子どもにも響きやすいです。

#### 知らないことがたくさん



7月31日から全4回で行われた「夏休み自然ものしり教室」（主催：町立図書館）は、魚類、植物、昆虫、鳥類のテーマで、学校では学びきれない専門的で面白い話が聞けました。

#### 町には先生がいっぱい



8月5日・18日・26日に全6テーマで開催された異世代交流事業（事務局：町健康福祉課）では、子どもたちが、高齢者の経験談や価値観に触れる機会ともなりました。

## 地域の伝承するチカラ

### 夏祭りを彩る 囃子の伝統と地域愛を次世代に伝える

子どもたちが地域で健やかに育つためには、その地域をもっと好きになってもらうことも必要です。その環境づくりの一つに、地域の伝統文化を継承していく活動があります。

#### 次世代に引き継ぐ「思ひ」

町指定無形文化財である「泉井獅子舞※」（「熊井屋台囃子」「今宿祭囃子」は、いずれもその伝統文化を継承していく保存会が組織されています。各保存会は、近年の少子高齢化

や、働き世代の多忙さなどにより、後継者不足に悩んでいます。

そうした中でも、例年、7月には熊井毛呂神社の例大祭と、今宿八坂神社の例大祭で、各保存会の皆さんが祭囃子を奉納してきました。それは、保存会の皆さんが、子どもたちと練習の時間を共有することで育んできた絆や、祭囃子の楽しさを身をもって伝えてきたことが形になり、続いてきたものです。

「子どもたちのお囃子を覚える吸収力はすごい」と、大人たちはいつも



（写真上）夏季例大祭に向け、6月からお囃子の練習を重ねてきた今宿八坂神社祭囃子保存会の皆さん。練習をする社務所には、昔の囃子連の方々の写真も並び、その歴史を感じることができます。



（写真右）7月23日・24日に行われた例大祭では、祭り囃子を奏でる保存会の方々を載せた山車が今宿地内を巡行する場面も。この山車巡行は、交通事情により中止となっていたものを、平成2年に復活させたものです。



昭和50年代後半に一度は途切れた熊井屋台囃子も、その後は保存会の皆さんの努力により脈々と続いています。（7月16日撮影）

驚いています。その吸収力で、祭りを通じて深まる地域の連帯感も感じ取ってくれば、地域のことをもっと好きになっていくはず。その積み重ねが、地域の伝統文化の継承にきつとつながります。

#### 地域の教育・伝承活動に目を向けよう

子どもの健全育成のためには、地域全体のモラルの向上や地域の教育力の向上が必要となります。そのため、今いる大人たちが、きちんと地域のことや次世代の育成に目を向ける必要があります。

あなたも、地域における教育活動や伝承活動について考え、その活動に関心を向けてみませんか。

#### 地域の目で見守ろう

### 青少年非行防止パトロール

町青少年問題協議会（事務局：町健康福祉課）は7月24日・8月6日、町内で行われるイベントやお祭りにあわせて、夜間外出中の児童・生徒の街頭指導および非行防止のパトロールを行いました。青少年の非行を防ぐため、主任児童委員や青少年相談員、小中学校PTAや校長先生、保護司、社会教育委員、青少年育成推進委員などの方々が声かけや見回り活動を実施しました。



7月24日の今宿八坂神社例大祭でパトロールをした皆さん